

## 【第 61 回島根県 PTA 連合会研修大会 浜田大会に参加して】

去る 8 月 6 (日) に浜田市の石央文化ホールにて開催された県 P 連の研修会に参加して参りました。はじめにアトラクションがあり浜田少年少女合唱団 S & S の皆さんが心を一つにし、澄み切った歌声をご披露してくださいました。

実践発表は浜田市立浜田東中学校 & 三隅小学校に於ける〈台所でつなごう！親子の手と手！命の手と手！〉次に始まる講演とリンクした実践発表となり子ども達だけで作る“お弁当の日”を取り組んでこられ、始めは不安のあった保護者の方々も「子どもが自ら成長しようとする過程を手や口を出さずに見守り、自分自身で考え行動し、失敗しても立ち向かう力を子ども達が身につける事が出来ました」と子どもが成長する過程を通して、親も自分育てが出来た…。そんな晴れ晴れとした笑顔の実践発表が、同じ親として心に響くものを感じました。

講演は『食べる つながる 最高！！』の題名で、香川県内の小・中学校で校長として歴任されてきた竹下和男氏が「子どもが作る“弁当の日”」と称して、親は一切の手出しをせずに子ども達だけで買い物の準備から調理→片付けに至るまで、自らでお弁当を作りあげることを、テレビや著書・講演会で提唱されてこられ、今や実践校は全国 47 都道府県で約 1,800 校にものぼっています。

講話の中で印象に残った言葉が

①自分の身体は自分の口にした物でできている。当たり前のことですが意識しながら食べ物の命（一粒の米・野菜・魚・肉）を感じながら食卓を囲んでいるかな？と振り返る切っ掛けとなりました。

もう一つは②人は置かれた環境に適応する。それは動物も植物も同じく…生き残る為に。味覚の発達が脳発達にも繋がり連動していると…。食事を作らない親も居ると昨今、耳にしますが…。

“自らが生きていく為に自立をし主体的に自発的に行動すれば、親は選べないし過去は変えれないが、未来の人生は自分でつくっていける”と力強く話された先生の声が今でも心に残っています。

終わってみれば、あっという間で…涙腺が緩みっぱなしで男性の方も号泣する場面もあり、まだまだお話を聴いていたい講演会でした。

最後に竹下先生のお話にもあるように、日々の生活の営みの中に幸せは点在し身近に在り、命の恵みを戴くことで、私たちは生かされている。命が繋がっている。生きていくことに感謝の想いが生まれ心を打たれた、ひとときでした。

文責 副会長 湯本 光知子